

2024年12月21日開催(土)地域交流センター2階多目的ホールにて

各担当課に「皆様の声」をお届けしました。また、議員でも共有しておりますので、一般質問や議案質疑などで取り上げられることもあります。

担当課	意見・要望・質問	回答
総務課	住民や子ども目線による予算配分をしてほしい。予算審議に町民の意見を取り入れてほしい。	窓口対応時などの日々の業務の中で、住民を始めとするステークホルダーの皆様のご意見を積極的に伺っており、様々な場面で頂いたご意見・ご要望を踏まえ、各般の状況等を勘案した上で、各担当課より予算の要求が行われ、配分しております。また、最終的には予算案に対し、選挙によって選ばれた町議会議員が内容を審査することとなっております。今後も子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層の住民からご意見を頂く機会を大切にしながら予算編成・配分に努めていきたいと考えております。
	若い人たちの意見を取り上げる区長会になってほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。
防災交通課	コミュニティバスの有効な運営をしてほしい。	コミュニティバスの運営に関しては、「武豊町地域公共交通会議」に諮り運営方法について審議して頂き、運営をしております。今後も、運営方法に関して他市町の事例等を参考にし、有効な方法を模索して参ります。
	南海トラフ地震対策を進めてほしい。防災交通課が業務多忙のため組織改革の見直しをしてはどうか。	町では、喫緊の課題である南海トラフ地震等の大規模災害に備えて、防災対策を進めています。備蓄食料の確保、防災ガイドブックの作成や防災訓練など実施しています。特に、被害者を減らすためには、早期の避難が重要であるため、同報無線や一斉配信メールなど迅速な情報伝達手段の普及、防災教育を通じて地震体験車の活用による防災意識や知識の向上等に取り組み、災害による死者を限りなくゼロにすることを目指しています。これらの取組については、武豊町地域強靱化計画にとりまとめて町ホームページで公表周知を図っているほか、近隣市町とも連携し各種防災情報の共有も行っています。また、地域の防災活動の要となる自主防災組織の取組支援、毎年10月に開催予定の防災訓練などを通じて、地域防災力向上を図って参ります。業務多忙のため組織改革の見直しのご意見については、貴重なご意見、激励のお言葉として頂戴します。
	コミュニティバスが通勤などに利用できるよう朝、夜の時間延長の運行を望んでいる。	今年度に実施いたしました住民アンケートや皆様からのご要望をもとに、幅広い年代の方々にご利用頂けるコミュニティバスとなるよう検討を進めてまいります。
	通学路の安全対策を取り締まりや防犯カメラの設置などにより強化してほしい。	○通学路の安全対策の取締り 速度超過や一時停止無視等の取締りについては、警察と情報共有を行い連携して、交通安全対策に取り組んでおります。取締り等の実施依頼については、情報を頂いた時点で、その都度町から、警察へ依頼しております。また、日時や取締り対象等の情報をご連絡頂ければ、警察に対して情報提供を行います。 ○防犯カメラの設置 現在、町内24箇所の主要交差点に防犯カメラを設置しております。また、今後、通学路を中心に、防犯カメラの増設を進めて参ります。
企画政策課	武豊町の魅力発信が必要である。	魅力発信につきましては、これまでテレビ、雑誌、広報、SNS等にて発信をしておりますが、今後も更なる魅力発信に努めて参ります。
	企業誘致を進め財源確保をする。	現在、企業誘致の可能性について検討業務を進めているところであります。
	消費税に関しても例えば、生活に必要な食べ物はもっと下げるといったような意見もある。それを町→県→国というようにどんどん上にあげてほしい。上位組織に陳情してほしい。声を上げられない人、住民や小さな声を聞いて世の中が動くようになってほしい。	意見として頂戴いたします。貴重なご意見ありがとうございます。
	若い人たちに住み続けてほしい。	若い人たちに限らず、多くの人が本町に住み続けていただけるよう、第6次武豊町総合計画に掲げる将来像への具現化に向け、まちづくりを進めて参ります。
	物価高騰で生活が厳しくなる中で普通の高齢者は置いて行かれていくと感じる。補助や給付は住民税非課税世帯や子育て世代ばかり。まじめにしっかりとやってきた人がバカを見る世の中になってきていないか。	物価高騰対策としては、国が実施する低所得世帯向けの施策の他にも、これまでに「プレミアム付商品券」「武豊ぐるめ食うボン券」、「生活応援券」、水道基本料金の減免、農業生産資材高騰対策補助金、学校給食費の一部支援など、様々な対象の方に支援が行き届くように施策を実施しています。今後も財政状況を鑑みながら、支援策を講じていきたいと考えております。
	知多5市町を一市に合併したら、他に例を見ないまちになる。(できたらいい)	意見として頂戴いたします。貴重なご意見ありがとうございます。
	箱物やパフォーマンスでお金を使わず、使わない。単体の施設ではなく、大府市のような複合施設として整備してほしい。	第6次武豊町総合計画や公共施設等総合管理計画をはじめ、各種計画に基づきながら施設の最適化を目指してまいります。
	安全で・安心に暮らせる町。JERAの近く(貯炭場から50m)住んでいる1月の爆発がありとても心配である。なぜ西側に作ったのか。東側に場所を変更してほしい。	意見として頂戴いたします。貴重なご意見ありがとうございます。
秘書広報課	職員の離職者、退職者が多い。	離職者、退職者については喫緊の課題と捉えています。今後も魅力のある、風通しの良い職場となるよう環境整備に努めます。
	町長・議員の想いが伝わってこない。	状況に応じて、広報紙を始めSNS等も活用しながら町長の想いを発信して参ります。
	パブリックコメントを知らない(出した方がいいよというアドバイスから)	パブリックコメントについて、これまで同様、広報、ホームページ等で周知を図っていきます。
福祉課	65歳以上の高齢者が活躍できる場所が必要である。	高齢化が進む中では、高齢者が支えられる側だけではなく、支える側として活動することも必要なことです。まずは、就業機会を確保する場所としてシルバー人材センターがあります。次に、ボランティア活動をしていただく際には、武豊町社会福祉協議会を通じて団体の案内を行います。その他、老人クラブでの活動や、憩いのサロン、各種講座といった、余暇を過ごす活動もあります。その方の希望する活動内容に応じた案内は可能な状況ではありますが、高齢者が活躍できる場の案内がより一層できるよう引き続き努めます。
子育て支援課	保育園を民営化した方がよい。保育士一人当たりの受け持つ乳児、園児人数は適当であるのか。	保育園の民営化につきましては、人材確保の問題だけでなく施設の老朽化への対応や多様なニーズに合わせた保育の展開においても、必要な選択肢であると考えております。公立と民間のバランスを踏まえた民営化に留意し、多様な保育等の実施、質の確保、運営経費などを総合的に勘案しながら、検討を進めているところであります。保育士の配置基準につきましては、現状、国の基準以上の配置をしております。
	障がい児保育に関して、前例がないということで終わりにしないでほしい。障がいの程度など特性は一人一人違う。広い視野をもって、理解しようとしてほしい。学校教育課の理解は高く、上の子どもはよくしてもらっている。阿久比町では普通に預かっていた。保育士によって対応が変化するのはおかしい。担当課として保育士の差によっての不公平をなくするのが仕事ではないか。今後、支援センターにも不安を感じている。	障がい児保育に関しましては、こどもの状況により、「安全に保育ができること」を大前提として、保護者の就労や家庭状況などの事情を踏まえた上で、個別で保護者の方々と相談しながら進めております。保育士による対応につきましては、経験や業務別などの研修を行い、更に保育の質が高められるよう努めてまいります。
	子ども会への加入減少の対策を進めてほしい。併せて子ども会が解散した場合においても、これまで行われてきた行事などを継続してほしい。	町としましても、会員を増やしていけるよう効果的な方法を関係者と話し合いながら、対策を講じてまいりたいと考えています。
	南保育園の遊具がボロボロでも修繕費を確保してもらえなかったことがある。衣浦小学校の遊具もボロボロな状態で遊べない状況にある。予算の適切な配分、ケガをしない遊具などの管理をしてほしい。町長及び担当者はもっと現場を見てほしい。保育園で保護者に対するアンケート調査の回数を増やし、活用して現状や要望の把握をしてほしい。	安全対策は一番に優先する事項でありますので、園との連携をより密にし、危険度の高いものから適切な管理をしてまいります。また、アンケートにつきましては、年1回を基本に保護者の回答負担も勘案しながら、年1回が適切であると考えております。
健康課	自分たちで健康を調べ予防できる環境づくり。保健センターに骨密度計、血管年齢測定器の導入をしてほしい。	自ら健康を調べるという点に関しまして、保健センターにおける骨密度測定器および血管年齢測定器の常時設置につきましては、管理方法や種類、住民の方々のニーズ、近隣市町の実績等も含めまして、調査・研究してまいりたいと考えております。現在は産業祭などイベントにてご自身の健康を調べる機会がございます。また、予防できるという点に関しまして、現在保健センターでは憩いのサロンや出前健康講座など住民の皆様が集う場をお借りして、健康に関する情報提供をさせていただいております。今後もより一層健康づくりのお手伝いができるよう考えてまいります。

住民窓口課	差別のないまちになってほしい	住民窓口課では5名の人権擁護委員とともに、様々な機会を捉えて人権問題について啓発活動を行っております。主な活動は、保育園での紙人形を使った啓発、「産業まつり」や「二十歳のつどい」でのチラシ等の配布による啓発、また町内スーパーマーケットでも啓発活動を行っております。さらに、町内小中学校にご協力いただき、標語や書道などの作品を募集し、多くの児童・生徒さんから応募していただくことで、人権問題について考える機会を作っていただいております。今後も引き続き、啓発活動を行っていきたくと考えております。
産業課	みそ、醤油などを始め武豊のブランド化を進めたらどうか。(PR)	関係者の皆さまと意見交換をしてみたいです。
土木課	道路の凸凹などの損傷を、町民が気軽に相談できる窓口を設置してほしい。	昨年7月から武豊町公式LINEにて道路損傷等の様々な不具合をお気軽に通報できるようになりました。この通報機能を活用いただき、安全・安心に暮らせるまちづくりに向け、より多くの町民の皆様から広く情報を提供いただきたいと考えております。また、土木課窓口だけでなく、電話における相談又は要望も受け付けておりますのでご活用ください。
都市計画課	消防署の東の土地が今後どのように活用されるのか楽しみです。	現在、武豊中央公園と南側(公共機能集積エリア)をあわせた「公共交流拠点」の整備に向け、検討を進めています。
	中央公園エリアについて、机やイスがあり食事のできるエリアが欲しい。	現在、武豊中央公園と南側(公共機能集積エリア)をあわせた「公共交流拠点」の整備に向け、検討を進めています。導入機能については、今後の施設整備の計画・設計段階において、検討をしてみたいです。
	中央公園エリアについて、家族連れが過ごせる場所や自習室などいろいろな人が活動できる場所がほしい。	
	六貫山、楠、北中根など近くにスーパーやドラッグストアなどを誘致してほしい。	現在、商業施設の新規出店については民間事業者からの申請となり、行政主導での商業施設の誘致をしていません。
	公園に子どもの遊具の整備に加えて、大人の健康増進につながり、併せて子どもたちが見守れるように健康遊具を設置してほしい。	現在、武豊中央公園の子どもの遊具近くに健康遊具を設置しております。また、今後の整備の参考にさせていただきます。
	町民や行政との交流の場、情報交換の場となる集まりやすいコミュニティスペースをつくってほしい。(半田市ココロリン)	現在、武豊中央公園と南側(公共機能集積エリア)をあわせた「公共交流拠点」の整備に向けた検討を進めています。誰もが気軽に利用できるようなスペースを設置し、多様な交流・活動ができるような拠点整備を進めてまいります。
	公園の遊具の整備、トイレの男女別の再整備、授乳室の設置などをしてほしい。	現在、公園施設再編計画策定を行っており、遊具の整備等は計画に基づき行う予定となり、トイレや授乳室の整備は計画していません。今後の整備の参考にさせていただきます。
学校教育課	居酒屋が欲しい。駅前などに住民が集まれる場所、活用できるスペースがほしい。	現在、名鉄知多武豊駅東側の町有地において将来的な土地利用を検討することを目的に、暫定的な土地利用としてキッチンカーの出店者やイベント等の開催者を募集しています。
	子どもの教育現場を守ってほしい。	子どもたちの安心・安全の教育現場を守り、より改善できるよう努めていきます。
	衣浦小学校で英語のリスニングテスト時よく聞こえない(音響的にはっきりと)はっきりと聞き取れるようにしてほしい。	学校施設の老朽化に伴い、計画的に修繕を実施しております。学校にも放送設備の改善に対する要望をいただいた旨をお伝えさせていただきます。
	小学校のクラブ活動が年10回程度だが少なくないか。	小学校のクラブ活動については、ある学校では水曜日の6時間目の授業時間に行っており、他の科目とのバランスから月1回の実施となっております。クラブ活動については、児童が発起人となりクラブ活動を立ち上げて行うため、児童らによる主体的な取り組みにより進められております。
	学校の問題などの相談窓口の周知を。相談窓口業務や部活動の指導などは先生の仕事ではない。シニアの方に校内に相談窓口を担ってもらったらどうか。また、インターネット上に相談窓口を設けたらどうか。	毎年、相談窓口のお便りを配布させていただいており、また、小学4年生から中学3年生までの児童生徒を対象にSNS相談窓口「あいちこども相談」を案内しております。学校教育課でも相談を承っております。部活動に関しては生涯学習スポーツ課で進めております。貴重なご意見ありがとうございます。
	南保育園の遊具がボロボロでも修繕費を確保してもらえなかったことがある。衣浦小学校の遊具もボロボロな状態で遊べない状況にある。予算の適切な配分、ケガをしない遊具などの管理をしてほしい。町長及び担当者はもっと現場を見てほしい。保育園で保護者に対するアンケート調査の回数を増やし、活用して現状や要望の把握をしてほしい。	保守点検を実施し、事故発生の未然防止及び安全な遊具の使用確保に努めており、遊具の修繕については計画的に施工を行っております。
	給食の無料化を実施し、人口を増やして選ばれる町になってほしい。	児童生徒の給食費への一部支援については、物価高騰の影響を受けた子育て支援世帯への生活支援対策として、全児童生徒を対象に、令和7年度についても、令和6年度と同様に公費負担として小学校50円・中学校60円を見込んでいます。本町としては、給食費の無償化は現在の国への要望を行ってまいります。無償化につきましては、今後も国の動向に注視し、情報収集に努めていきます。
生涯学習スポーツ課	中学校の部活動について、現在武豊中学校に在る来年度の部活動についてははっきりした説明がない。地域移行など案内のない部活動はどうすればいいか。	武豊中学校の部活動については、来年9月から土日の部活動がなくなります。平日は引き続き部活動があります。次年度以降、情報発信に努めて参ります。
	部活動の種目によっては武豊にクラブがない種目もあるため他の市町村とも連携して活動ができるようにしてほしい。	貴重なご意見として承ります。
	外国人との関係を変え、相互理解が得られる取り組みを進めてほしい。相互の親への教育や居場所づくりを行い、思いやりや助け合いの心を育むことが必要である。	住民の皆様が国籍に関わらず、つながりを持てるような、機会の創出や、情報発信に努めて参ります。
	図書館について、テスト期間前や受験生がよく利用しているが、自習室の利用できる時間を増やしてほしい。	図書館の学習室(自習室)については、原則として開館時間中(9:00~19:00)はいつでもご利用できます。夜間の開館時間を延長することについては、現状考えておりません。
	図書館について、タブレットやスマホも利用するため(学習時)Wi-Fiも利用できるようにしてほしい。	学習室でのWi-Fiの利用については、図書館のサービス向上の取組みとして検討して参ります。
	図書館について、休憩場所(食事をとれる場所)を増やしてほしい。	図書館の飲食スペースについては、2階ロビーの一角に設置しています。匂いやゴミ、蔵書等への汚損などの問題があり、閲覧室に拡充するスペースもないことから、隣接する中央公民館もご利用ください。
	図書館について、イベント開催時に利用できないことがあるが、周知不足ではありませんか。	「公民館まつり」、「ふるさとまつり」など図書館と隣接する施設全体で行う事業があるときには、図書館においても事前にご案内しているところですが、一層の周知に努めて参ります。
	小中学生が地域の大人と関わるボランティアなどの機会があるといいと思います。	県の天然記念物に指定されている吉野山湿地においては、吉野山湿地を守る会、地元住民に加えて小中学生ボランティアなど多様な主体が関わって保全活動を行っていますので、ぜひご参加ください。
	明るく挨拶が飛び交う穏やかな町で、誰でもが明るく話ができるまちになってほしい。	武豊町では、お互いを認め合う「人がつながるまち」、みんなでもとにつくり上げる「協働のまち」、そして、笑顔が絶えない「しあわせのまち」を目指して、『心つなぎ みんなでつくる スマイルタウン』という将来像を定めています。生涯学習スポーツ課としましては、青少年健全育成という観点から、必要な施策を推進して参ります。
	外国人との関係を変え、相互理解が得られる取り組みを進めてほしい。相互の親への教育や居場所づくりを行い、思いやりや助け合いの心を育むことが必要である。	住民の皆様が国籍に関わらず、つながりを持てるような、機会の創出や、情報発信に努めて参ります。
	議会中継をYoutubeで見られるようにしてほしい。議員の得意分野なども開示してほしい。	Youtubeでの動画配信について、今後検討をしてみたいです。政治への関心が薄れてきていることや、本議会が、住民の皆様にとって、身近な議会となるよう、努めてまいりたいと考えております。さらに、議員の得意分野などの配信についても、今後、検討してまいります。
	住民対話集会が年1回では少ない。自分たちの意見が今どうなっているのかを知りたい。	住民対話集会の2回以上の開催については、検討してまいります。住民の皆様からのご意見については、町(行政)に回答を求め、公表しております。しかしながら、「今後、検討する」との回答について、その後の追跡などは、行っていない状況にあります。今後は、タイミングを見て、再度、町(行政)に検討の経過についての公表等、検討してまいります。
	議会の考えや意見をもっと発信してほしい。	議会の考えや意見の発信について、検討してまいります。

議会	議会だよりに掲載の提案（一般質問？）などについて、経過や結果が知りたい。また、調査などは期限を決め取り組み、結果を報告することが必要である。	一般質問などの経過、結果や調査などの取り組みなどの公表について、議会だより内(その後どうなった?)にて行っていますが、さらなる公表の方法を今後検討をしてみたいと考えます。
	議員の想いが伝わってこない。	様々な機会に、想いを発信できるよう努力してまいります。
	全体の意見だけでなくテーマを絞って話し合いのような対話集会も必要	今後、検討してまいります。
	各議員の取り組みが分からない。議員自身が身近にないと感じている。	各議員の取り組み紹介など、議会だより、ホームページ、SNSなどでの発信を検討してまいります。全議員に、このご意見を伝え、議員一人ひとり、住民の皆様にとって、身近な存在となるよう、心掛けてまいります。